

令和2年6月1日（月）
福井工業大学附属福井高等学校・福井中学校の保護者の皆様へ
校長 佐々木栄秀

【はじめに】

本日から、マスク着用や検温、こまめな手洗い・消毒ならびに時差登校・分散登校および「3密」を避ける行動など万全の新型コロナウイルス感染症防止対策を講じながら、新学期が始まりました。生徒が登校し、授業が再開され、友達と勉強やスポーツで切磋琢磨するなど、緩やかに日常が戻ってきました。

今のところ、私たちの行動制限がすべて解除となっているわけではなく、「新しい生活様式」の中で学校生活を送ることになります。中学生は最初の1週間は午前中4時間授業を（+給食）、高校生と専攻科は通常の授業を開始しました。生徒たちにとって、早く、楽しく充実した学校生活になることを願っております。

【感謝】

まずは、生徒の皆さんや保護者の皆様に対し、3か月間の休校中における本校の対応についてご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。国の方針が1日でひっくり返る時や唐突に金曜日に発令される時もあり、本校も急に対応しなければならぬ時がありましたが、その都度、本校からのホームページや文書による連絡・依頼事項に対し、迅速かつ柔軟にしかも適切に対応していただきありがとうございました。

また、県内や本校の感染症の状況については、医療従事者や県行政の方々のご尽力もさることながら、生徒の皆さんの誠実な対応と我慢のおかげで、順調に鎮静化しております。県内の新型コロナウイルスの新規感染者は4月29日から1か月間以上、ゼロが続いております。

さらに、県外からの寮生の皆さん・保護者の皆様にも感謝いたします。県の方針で急遽地元にお帰りいただいたこともありました。また、今回は、2週間前に県内に入り、一人一部屋の宿泊施設で健康観察をしていただき、不自由や寂しい思いをさせたと思いますが、誰ひとり感染症状はなく、今日の日を迎えられました。改めて感謝申し上げます。

【福井県内の感染状況】

県内では、4月29日に感染者がゼロになって以来、今日まで1か月以上新たな感染者は出ていません。しかしながら、油断は禁物です。北九州市の例を見ますと、4月30日から23日間連続で新たな感染者はいませんでした、

5月23日から8日間で85人の感染者が出てしまいました。誰がウイルスを運んできたのか、誰かが保持していたのかなどは不明で、このウイルスについてはまだまだ不明なことが多いようです。一人ひとりが、「新しい生活様式」に従い、感染予防対策を続ける必要があります。

なお、ノーベル生理学・医学賞を受賞した山中伸弥教授によれば、このウイルスのワクチンや治療薬の実用化には相当時間がかかり、このウイルスとの戦いは1、2年かかるだろうということです。

【本校の感染予防対策】

本校では、教員・生徒のマスクの着用およびこまめな手洗いの励行を徹底するとともに、飛沫感染防止のため、身体的距離の確保 (physical distance) を徹底します。特に、高校では、7月末までは、当初の教室配置ではなく、大学の講義室（6部屋）を使うなどして広い教室に移動してもらうクラスがあります。机の間隔を1メートル以上あげ、生徒の皆さんを広く配置しながら授業を行ってまいります。また、授業中は大きな声で話さないことにも気をつけ、教員はマスクに加え、フェイスシールドを装着して授業をします。さらに、昼食時には、各自の机に「飛沫感染防止ガード」を立てるなどの方法を講じています。これらの様子は、本校のホームページに掲載しております。

また、エアロゾル感染の可能性も指摘されていますので、教室はもちろん、体育館のような広い空間でも、換気を徹底していきます。夏にエアコンを使用する時ですら、換気が必要であると考えています。とにかく、教室の換気を徹底し、空気の流れを作ることを心がけていきたいと思います。

接触感染の対策としては、多くの生徒が手を触れる箇所（ドアノブ・階段の手すり・スイッチ）を1日1回以上消毒します。また、理科室、パソコン室、音楽室などで、物品の共有による接触感染を防ぐために、使用後には消毒をし、生徒にもこまめに手洗いを徹底します。接触行為を伴う武道や、大量の呼吸を吸い込む激しい運動や大きな声で歌うこと、楽器を吹くことなどは、当分の間禁止せざるを得ないと考えております。

【授業再開に向けての配慮】

まず、生徒の皆さん・保護者の皆様にお願いですが、毎朝、自宅で検温および風邪症状（咳、強いだるさ、息苦しさ、咽頭痛、味覚障害等）がないことを確認していただき、体調がすぐれないときには自宅で療養していただきたいと考えています。なお、この場合の欠席は「出席停止扱い」とします。後日、書類を提出してください。

次に、登校時についてですが、本校には中学校、高等学校および専攻科あわせて1800人を超える生徒が通学しますので、学科ごとに登校時間を調整するなどして、分散登校させます。また公共交通機関を利用する生徒も多く、3密を避ける行動を徹底させたいと思います。電車内でのマスク着用や会話を控えることに加え、JR福井駅からのバスについては、運行時間の変更や学園バスを使い、また、乗車人数を制限するために、駅に教員を配置しています。

校舎に入る際には、サーモグラフィで体温を検査したり、教員が入り口に立って健康観察を行います。自宅で検温や健康観察をしていただくことが大前提ですが、入校時にも体温をチェックし、ダブルチェック体制で感染源を絶つことを徹底したいと思います。

また、心のケアは最大の課題であり、3か月間の休校により、学習の遅れ、体力の減退、精神・心の安定などについて、いろいろと心配や悩みがあると思います。担任、教育担当教員や養護教員および男女2人のカウンセラーが生徒たちの悩みを丁寧に聞いていきたいと思います。

【県外生（寮生）が2週間の健康観察終了】

寮生の相部屋生活における感染リスクを避けるため、また、県内の感染拡大防止や新たなクラスターの発生リスクを避けるため、さらに県外生が安心して生活できるように、同時に県内生も安心して登校できるように、保護者の方々が安心して生徒を預けていただけるように、県外生（300人弱）は、学校開始2週間前に県内入り、1人一部屋の宿泊施設で健康観察をしていただきました。誰一人として感染症状はなく、本日から学校生活をスタートできました。

また、寮内でも、「新しい生活様式」を徹底してもらいます。部屋から出るときにはマスクを着用し、部屋の往来を控えることも指導します。部屋に戻ったら、丁寧な手洗い・うがいを徹底し、食堂などで食事をとるときには、密にならないように、食事時間をずらしたり、相対でなく横並びで座るなどの工夫をしていきます。

【授業スタート】

学校教育は、本来、教師から生徒への対面指導や、生徒同士の関わり合いを通じて行われるものであり、休校中、ビデオ授業や課題による学習をしてきましたが、やっと「普通」の授業が始まりました。教師が生徒の理解状況を把握し、生徒の顔を見ながら説明したり、質問したり、疑問に答えながら授業を進めることができます。しかしながら、例年に比べ、学習内容は減りませんが、学習時間は限られていますので、様々な工夫を凝らして授業を行っていきたいと思います。

授業の補充についてですが、4月10日から5月6日までに授業が欠けた日数16日間を、夏休みの7月21日から8月1日までの期間（10日間）と8月17日から24日までの期間（6日間）で補充します。なお、5月11日から31日までの期間のビデオ授業や課題学習は授業時間としてカウントしません。したがって、前期の中間考査では、4・5月分の課題・ビデオ授業内容も考査出題範囲に含めます。高校では、中間考査を6月23日～26日、期末考査を8月25日～28日に実施し、中学校では、中間考査を7月14日～15日、期末考査を9月9日～11日に実施します。

夏休み期間は8月2日から16日までということになります。なお、この期間には、大学進学を目指す生徒には補習を行い、就職志望の生徒には願書・志望動機書の作成指導や面接練習をします。

【双方向遠隔授業の準備を始めます】

高校では、今週から、通常の授業と並行して、クラスごとにコンピュータ室で、教員と生徒の双方向遠隔授業の演習を開始します。いずれ来ると予想される不測の事態に備えるために、生徒も教員もシステムやアプリケーションの操作に慣れ、映像や音声の感覚を体験し、双方向遠隔授業の準備を始めます。感染リスクがいったん収束したこの時期に、休校の際の双方向遠隔授業の準備を一気に進めたいと考えています。なお、これにより、夏季・冬季休業中であっても、双方向遠隔授業や生徒指導や健康観察などが可能になり、将来起こりうるいかなる災害などの緊急時にも、十分対応できると思います。なお、不謹慎ではありますが、本校では、新型コロナ対策に加え、Wi-Fi環境も含め、教育のICT化を一気に進めます。

改めて、今回のビデオ授業のために、ご家庭で、新たにWi-Fiやパソコンなどをご購入・整備いただきました保護者の皆様にはお礼申し上げます。

【感染者や濃厚接触者が出た時には】

「感染源を絶つ」意味で、とにかく、体調の悪い生徒は登校を控え、自宅で療養および健康観察をしてもらうことが最重要であります。仮に、生徒や教職員の感染が判明、または濃厚接触者と特定された場合には、当該者の症状の有無、学校における行動の様子・範囲、接触者の人数、感染経路の明否等に応じて、全校臨時休業または一部の休業の措置を取ります。

なお、寮生の感染や濃厚接触の場合には、それぞれの寮の生徒全員が一つの家族ですので、全員が待機対象となる可能性があります。状況によりますが、福井市保健所の指導の下、対応していくこととなります。私たちは、当然ながら、そうならないように万全の準備、丁寧な指導をしていきたいと思っております。

【最後に】

当分の間、毎朝の検温と体調観察を習慣化し、マスク着用とこまめな手洗いを徹底し、3密を避けるなど「新しい生活様式」を実行しながら、学校生活を送ることになります。どうぞご協力をお願いします。

また、感染者や医療従事者への根拠のないデマや、誹謗・中傷、嫌がらせ・いじめなどについて、ご家庭でもご注意いただき、絶対に関係しないようにご指導ください。先日、SNS上での誹謗・中傷のために22歳のプロレスラーの女性が亡くなりました。この困難な社会状況の中、他人の悪口を言うことで自分の不満やストレスを解消しようとする人たちが増えています。また、「自粛警察」とか「マスク警察」とかも横行しており、「偽った」正義感を正当化する人も増えています。一部ではあるのだろうけれども、日本および日本人の心がすさんできているように思われます。

生徒たちには、「自分に誠実に、他人には尊敬の気持ちをもって、行動し、信頼できる人間関係を構築する」よう励まし、育てていきたいと思えます。どうかご家庭でもよく話をしていただき、何卒、ご協力をお願いいたします。